

医学系研究に関する情報公開文書

研究課題名	Plerixafor(モゾビル)による造血幹細胞動員促進の効果と医療費に関する研究
研究責任者	骨髄腫アミロイドーシスセンター センター長 鈴木 憲史
研究機関名	日本赤十字社医療センター
研究目的と意義	<p>自家末梢血幹細胞移植併用大量抗癌剤療法(自家移植)は多発性骨髄腫の有効な治療法のひとつです。自家移植を行うためには事前にご本人の幹細胞を採取・保存しておく必要がありますが、過去の治療歴をはじめとする原因によって幹細胞が十分に採取できないことがあります。</p> <p>近年、幹細胞採取の効率を高める「モゾビル」という薬剤が認可され、当院でもこの薬剤を用いた幹細胞採取を行っています。</p> <p>モゾビルは有効性の高い薬剤ですが、高価な薬剤でもあることから、この薬剤を使用することによる費用対効果を明らかにすることは重要な課題です。そこで今回私たちはモゾビルを用いた幹細胞採取について、過去に他の方法を用いて幹細胞採取を行った場合と比較検討する研究を行うことにしました。</p>
研究方法	<p>○対象となる患者さん 2013年12月から2018年11月の期間に当院で自家末梢血幹細胞採取、及び自家末梢血幹細胞移植を行った多発性骨髄腫の患者さん</p> <p>○方法 患者さんの診療録(カルテ)を用いて、幹細胞採取前の処置、移植前後の治療内容及びその効果などのデータを収集します。 また、収集されたデータの範囲で下記の評価項目について検討します。</p> <p>○評価 幹細胞採取にかかった医療費 幹細胞採取前の処置 移植前後の治療内容、及びその治療効果 無増悪生存期間 全生存期間</p> <p>※倫理的配慮について 個人情報の保護については十分に配慮して解析を行います。 対象に該当すると思われる患者さんで、本研究への登録を希望されない方はお手数ですが下記までご連絡下さい。本研究へご協力頂けない場合でも、今後の診療において不利益を被ることはございません。</p>
問い合わせ先	<p>日本赤十字社医療センター 血液内科 / 〒150-8935 東京都渋谷区広尾4-1-22 担当者：小倉 瑞生 TEL：03-3400-1311 FAX：03-3409-1604</p>